

# 令和3(2021)年度 看護職員就業実態調査 (病院)

<令和4(2022)年4月実施>

## 令和3(2021)年度 結果概要

### 看護職員の離職状況について

- ・常勤看護職員の離職率は 13.3%、前年度は 12.8%で 0.5ポイント増
- ・新卒新採用常勤看護職員の離職率は 11.4%、前年度は 10.4%で 1.0ポイント増
- ・常勤看護職員のうち、  
通算経験3年目の離職率は 19.7%で前年度から0.8ポイント増  
通算経験5年目の離職率は 21.7%で前年度から3.3ポイント増

- ・退職理由\*は、多い順に 本人の心身不良(13.6%)、転居(11.3%)、家族の介護(5.7%)

\*その他・不明を除く

新卒新採用者の退職理由で最も多いのは 本人の心身不良(38.4%)

### 二次医療圏別の看護職員の離職状況について

常勤看護職員離職率は、高い順に 川崎(16.3%)、県央(14.0%)

新卒常勤看護職員の離職率は、高い順に 湘南東部(13.4%)、横浜(13.1%)

### 【今年度調査に関する補足】

令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症がまん延しており、本県では令和3年4月20日からまん延防止等重点措置適用、8月2日から9月30日に緊急事態宣言発令、令和4年1月21日から3月21日に再びまん延防止等重点措置適用となった。

## I 調査方法及び概要

### 1. 調査方法

- (1) 調査目的 :看護職員就業状況について実態を把握し、今後の施策に活用する
- (2) 調査対象 :神奈川県内の病院 336施設
- (3) 対象期間 :令和3(2021)年4月1日～令和4(2022)年3月31日
- (4) 回答数 :221施設 有効回収率65.8%(昨年度回収率67.9%)
- (5) その他 :図及び統計表の数値は少数第二位を四捨五入しているため項目の和と計の値は必ずしも一致しない  
:未回答等のため設問により回答数が異なる場合がある

### 2. 回答状況等

病床数	施設数(a)	回答施設数(b)	回収率(b/a)	回答施設割合 (b/回答施設総数)
20～99	86	53	61.6%	24.0%
100～199	109	60	55.0%	27.1%
200～299	55	43	78.2%	19.5%
300～399	41	28	68.3%	12.7%
400～499	21	17	81.0%	7.7%
500以上	24	20	83.3%	9.0%
合計	336	221	65.8%	100.0%

二次医療圏	施設数(a)	回答施設数(b)	回収率(b/a)	回答施設割合 (b/回答施設総数)
横浜	132	81	61.4%	36.7%
川崎	39	25	64.1%	11.3%
相模原	35	28	80.0%	12.7%
横須賀・三浦	29	17	58.6%	7.7%
湘南東部	25	14	56.0%	6.3%
湘南西部	21	16	76.2%	7.2%
県央	32	22	68.8%	10.0%
県西	23	18	78.3%	8.1%
合計	336	221	65.8%	100.0%

R3.4.1時点の就業人数	40,868
R4.3.31時点の就業人数	38,961
平均看護単位	7.6
平均勤続年数	8.0
R4.3.31時点の看護補助者人数	8,642